

よかところ通信



2007年新春号

オーツーフーム 大津勵志+耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 589
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: o2farm@aso.ne.jp
O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi
バックナンバー閲覧ID: o2farm, PASS: yokatoko

トピックス

- ・ 明けましておめでとうございます。

- ・ 東京ドタバタ孫見せツアー
- ・ 燃えた！新春恒例の「さぎっちょ」



皆様お元気で新しい年をお迎えるのことに
思います。本年もどうぞおあしす米と O2
ファームをよろしく願いいたします！

年末年始、耕太ファミリーは東京で過
しました。双子を連れてのエリ実家への帰
省。覚悟はしていたものの、移動はかなり
大変でした。飛行機に乗り余裕で(?)羽
田空港に着いたと思ったら、それからが遠
いのなんの。双子用ベビーカーを押しなが
ら、荷物を抱え、エレベーターや出口を探
してウロウロ…。子供たちが歩くようにな
ったらもう少し楽になるのか、はたまた大
変になるのか！？バタバタとエリの親戚訪
問に明け暮れる毎日でした。



さて南阿蘇に帰って来てみると、毎年恒
例の「どんどや(どんど焼き)」が待ってい
ました。この辺りでは「さぎっちょ」と呼
ばれています。本来は1月14日の夜、ま

または15日朝に行うのが慣わしだったそうです。今年、我が集落では14日午後から始めま
した。頂上付近にほんの少し雪が積もる阿蘇五岳を眺めながら、青竹を組んで火をつけると
間もなく豪快に燃えはじめ、寒空に竹が爆ぜる音が鳴り響きます。まだ幼い女の子が怖がっ
て泣き出してしまったほど。ところが我が家の息子二人は興味津々。燃え盛る炎を指して、
「そっちに連れて行け」と、さすが男の子！？

大人たちは、節をぬいた竹にお酒を注ぎ燗をつけます。竹
のおちょこでのむ「かっぽ酒」で体の中からもポッカポカ。
横ではバーベキューもはじまり、宴たけなわ。どんどやの火
で焼いた餅と一緒に、納豆をふんだんに使って、「納豆餅」
を頂きました。どんどやの火に当たり、その火で焼いた餅を
食べると一年間風邪をひかないと言われています。家族揃っ
てしっかり火に当たり、餅を食べてきました。

さて本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう
に。それに少しでもお役に立てるよう、O2Farm 一同、今
年も元気で農作業に励みたいと思います。本年もどうぞよ
ろしく願いいたします。

